

V 臨地実習指導者の役割と教員の役割

1 臨地実習指導者

- 1) 学生の行動計画や看護計画が対象にとって適切かつ妥当であるかどうかを判断し、助言・援助する。
- 2) 学生が安全かつ確実に看護を行うことができるように助言・援助する。
- 3) 対象の反応等、事象を教材化し、学生が気づくように助言・援助する。
- 4) 対象の予定、実習施設のスケジュール、活用できる資源について、情報を提供し、学生が最大限に学習機会を広げられるように援助する。
- 5) カンファレンス等に参加し、学生が学習を深めることができるように助言・援助する。
- 6) 実践を通して看護の役割モデルを提供する。

2 教員

- 1) 学生の実習にあたって関係機関との連絡調整を行う。
- 2) 学生が目標に沿った学習を行うことができているかどうか判断し、必要時、軌道修正を図る。
- 3) 学生個々の学習課題や問題点を把握し、適切な方法で指導・調整を行う。
- 4) 学生の看護技術が原理や理論に沿ったものであるか判断し、必要時助言する。
- 5) 対象や施設スタッフとのかかわりにおいて、学生に困難がないかどうか判断し、必要に応じて援助・調整を行う。
- 6) 学生が体験を適切に言語化し、記録等に表現できているかどうか評価し、必要な指導を行う。
- 7) 学生の体験の概念化及び既習の諸理論との統合を助ける。
- 8) 学生の実習目標の達成度を評価し、学生が今後の課題を明らかにすることを助ける。